



どうしよう  
アツシ  
外れない…!

どうやらチエコは  
催眠術にかかりやすい  
体質らしい

こんなの  
演技でする訳  
ないわよ!

ホントかあ?  
俺を騙そうと  
演技してゐんだろ?

催眠術シヨ一の  
ゲストに選ばれてから  
面白いくらい簡単に  
催眠術にかかっていた



これで  
貴女の手は  
離れない!

えっ…  
ウソ…!?

なんで!?

俺の彼女だ

目の前で催眠術に  
かかっているのは  
真辺チエコ



今日のデートが成功した  
手応えを感じていた



彼女が驚きながらも  
楽しんでいる  
姿を見られて

催眠術なんてものが  
本当なのは  
わからないけど…

普段は会社で、優秀なプロジェクトリーダーとして働いている上に

ここ最近はやりたかった仕事の担当を任されたってずっと根詰めて働いてたからな

これが息抜きになってくればいいんだけど…

あれ…?

千エコと… 後ろにいるのは催眠術師だよな…

もう催眠術シヨールは終わったのだ…

二人でいつたいたいな話を話してさなんだ?

おーい 千エコ

そろそろ帰ろう

え…

二人でなに話してたんだ?

ふふふっ それがね…

私には催眠術の才能があるから催眠シヨールのアシスタントになりませんか? ってスカウトされてたの

なんだそりゃ

うちの部署のエースが引き抜かれたら不味いなあ

もうっ 私が辞めるわけないでしょ 今が一番楽しいんだから



勘弁してくれ…

連休明けが  
楽しみね

どうやらアツシは  
私に厳しく指導して  
もらいたいみたい



|||||

貴女はこの後——




このあと  
どうなるか…

どこか寄って  
から帰るか？



うーん…  
明日も早いっ

この後は——



あれ？

あれ…？

どうした？

私…さっきのショーの  
トイシに財布を置いて  
きちゃったみたい！

すぐに  
取ってくるから  
アツシは先に  
部屋に戻っていて！



え…一人で  
大丈夫か？

俺も一緒について  
行った方が—

来ないで！

一人で  
行かなきゃ  
ダメなの！



あ…

チエロ…？



私が帰る前に  
掃除してくれたら  
効率的じゃない

アツシったら  
最近部屋の掃除  
サボってたでしょ



それじゃあ  
また後で



わかったわ

わかったよ…  
じゃあウチで  
待ってるから  
でもなんか  
あったらすぐに  
連絡をくれ

—ええ

すぐ戻るわ

そう言つて  
足早に去つて行つた  
千工コを見送つた俺は

自宅の掃除をして  
彼女の帰宅を待つた



しかし彼女は  
帰ってこなかった

それどころか  
スマホのメッセージで  
一方的な別れを告げられ

連絡をしても  
ブロックされてしまい  
コチラから連絡を取るのは  
不可能になってしまった

会社も無断欠勤を繰り返して  
どれだけ出勤要請をしても  
無視を続け：

いつの間にか届いていた  
退職届が受理され  
彼女は俺の前から姿を消した

退職願

—貴女なら  
きつと戻ってくると  
信じていましたよ

?

?

もつとも今の自分が  
何をしているか理解を  
してはいないようですが…

ブルン

ブルン

／＼  
ン

／＼  
ン

今までの人生を捨て…  
私に付き従うこと  
だけを考えるミス奴隷の  
アシスタントにふさわしい

後催眠もすっかり  
かかっている…  
やはり貴女は逸材だ

貴女ならば私の  
理想のミス奴隷と  
なれるに違いない

／＼  
ン

／＼  
ン

／＼  
ン

／＼  
ン

今ここに居るのは  
貴女が望んだこと！

あ…

んっ

グッ  
ホ

んっ

アッあんっ♡  
そうだったわね…

グッ  
キュ

グッ  
ホ

さあ…自分が  
何をしているか  
思い出しなさい！

催眠術シヨ一の  
オナホアシスタントに

された…  
からにはあ

はっ

はっ

身体の相性をあ

確かめなければ  
ならないっ♡

ズ  
キュ

ズ  
キュ

その通りです  
すぐに貴女にとつて  
大事なのはこの私の  
チンポだけにありますよ

ズ  
ッ

ズ  
ッ

ズ  
ッ

私のチンポに  
触れると貴女は  
とても気持ちが良い…

私にオマンコを  
突かれることは  
貴女にとって  
とても大切なこと…

私のことが  
どんどん大切な  
存在になつていく…

貴女はとても  
優秀な人間ですから  
自分の心の変化を  
しっかり理解して…

もっと突いてえ♡

しあわせ♡♡

あっ

えっ

はっ

はっ

すっ

これ好き♡

オマンコをチンポで  
こすられるたびに  
とても幸せな想いが  
心の中に溢れてくる…

オマンコ

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン



私に全てを  
さらけ出したい...

好きいつ

ズン

ズン

私のことを  
愛したい...

敬愛して  
服従したい...

ズン

さらけ  
出すっ

ん...



私に  
全てを捧げたい...

捧げろっ

トキョウ

トキョウ

トキョウ

貴女はもう  
理解してる...

捧げたいのぉっ

貴女の心が隷属を  
望んでることを...

ん...

ん...

膣内射精でいったら  
貴女はもう戻れない

グッポッ

グッポッ

グッポッ

本当の自分に  
目覚めたい

早く生れ変わりたいと  
心の底から願っている

グッ  
チュ  
グッ  
チュ

グ  
チュ

んああっ

もう...だめえっ

あっ

はっ

はっ

イク♡

もうイキますー♡

♡♡♡♡

はっ

かつての  
自分になんて  
戻りたくも無い

グ  
チュ

グ  
チュ

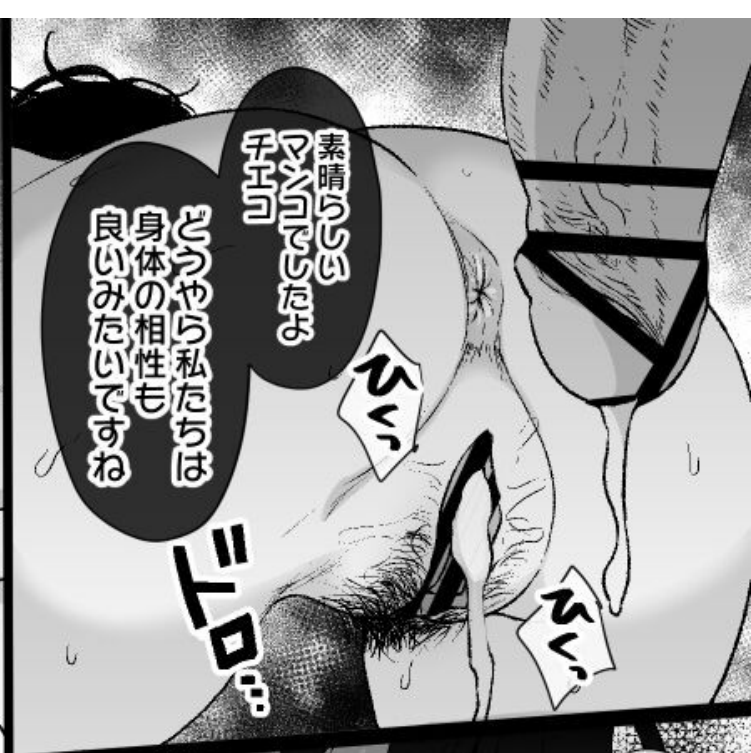




—それでは  
貴女の返事を聞かせて  
いただけないでしょうか？

むん、

私としては貴女に  
アシスタントとして  
協力して頂けたら  
嬉しいのですがね



素晴らしい  
マリアさま  
アヒル

どうやら私たちは  
身体の相性も  
良いみたいですね

ヒロ



はあ...

私が本当に  
したいこと...

果たすべき使命を  
鮮明に理解しました

これからご主人様の  
アシスタントとして  
協力...いえ...お側で  
お仕えさせていただきます

愚鈍なメスで  
あることを  
お許しください...

ああ...なんで  
すぐに気づか  
なかったのかしら...

—もちろん  
お受けします

ちゅ

ご主人様



あんな仕事も  
貴方のことも  
私にとつては  
どうでもいいの

なッ…!?



今の私はショーを  
手伝うアシスタント

どうして大事に  
想っていたのか  
不思議なくらい…

これが私の本当に  
やりたかったことよ♥



千エコ!  
やっと見つけた!

こんなところで  
何やってるんだよ!



無断欠勤したと  
思ったら…  
会社をやめる!!

今の仕事は  
千エコがずっと  
やりたくて念願叶って  
任されたんだろ!



それを捨てるなんて  
どうかしてるとぞ!!

ウサいわね…













